
初詣

醤油

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

初詣

【Nコード】

N9498P

【作者名】

醤油

【あらすじ】

急に初詣に行こうと言い出した太子。

それにしぶしぶ、ついていくことにした妹子

そんな妹子に少し太子は、寂しさを覚え・・・

（前書き）

腐向けに書いたつもりは無いんですが、もしかしたら、そう見える
かもしれません

現代パ口です

「よし！妹子！初詣行くぞ！！」

青いジャージを着た青年は、何かを決意したかの様に言った

目には、これから、宝探しに行くようなわくわくした、感情が面白いほどよく感じ取れる

『妹子』と呼ばれた、まだ顔にあどけなさが残る栗毛の青年は、軽く呆れた様に

彼へこう言った

「何をいきなり言うんですか？大学受験控えてる人が・・・勉強ばつちりやって、自身があるなら、別ですけど・・・」

「嫌だ！嫌だ！！初詣行くつたら、行くんだ！！」

「駄目です！僕だって、正月を利用して教えに来てるんですから受かってくれないと困るんですよ！！」

一見会話を聞いていると、駄々をこねている子供を

母親が、叱っている様にしか聞こえないが、目の前で行われていることは

高校3年生が、2年後輩に叱られているのだ。

受験勉強をしないで、初詣に行こうと言っているのだから当然といえば、当然であろう

「あああああ！もう！分かりましたよ！受験受かるようにお参りしてきて

さっさと帰りますよ！！」

妹子は、面倒くさくなったのか、しぶしぶ初詣に出かけることにした。

「ぱっひよい！！妹子おゝお前良いやつだなあ！」
まるで、子供だ。

おもちゃを買い与えられた時の子供を思わず、連想させてしまう。

「はいはい、じゃあ、もう遅いんでさっさと行きますよ、太子」

妹子は、白いコートを羽織り、毛糸のマフラーをして

そそくさと玄関で靴を履き始めた。

「おまつ、早いな・・・」

そういつている太子は、何も羽織らずに、靴を履き始めた。

「ちよつと！あんたは、何考えてんだ！！そんなんじゃ、寒いでしょうが！」

季節感無さすぎだろ！！」

妹子が怒るのももつともだ

気温が10度にも満たない真冬の深夜に、ジャージ一枚で出かける人間など、そうそういない。

「いいんだ！妹子がいれば寒くない！！」

「人をホッカイロみたいに言うな！！」

二人は、そんな会話をしながら、神社に向かった。

―神社―

「おお・・・流石に人も少ないな・・・」

太子が、感心したように言う、それに続くように妹子が

「そうですね、早く帰りましょう、寒いです」

「そんな帰りがらなくても・・・」

そう言う太子は、少し寂しそうな表情をした。

ガランガラン、

鈴を二人で、鳴らし、手を合わせてそれぞれ、願い事を心の中で唱

える

「なあ、妹子はなんてお願いした？」

目を輝かせて、問う

「別に、言わなくて良いでしょう？」

妹子は素っ気無く返した。

少しの沈黙

「・・・なあ、妹子・・・」

「何ですか！？」妹子が軽く苛つきながら、答える

「私のこと・・・嫌いか？」

「はい！？」裏返った声で、聞き返す。

「私のこと、嫌いか？」

太子の顔は、真剣そのものだった。いつものふざけとは180度ちがう

「・・・そ、そりゃあ・・・アホだし、カレー臭いし、感情的で子供みたいで・・・」

妹子は、少し息を詰まらせた。それと同時に顔が少し赤くなっている

「・・・大好きですよ・・・そんな太子が・・・！」

太子は、にこつと笑い、そうか、そう言っただけで妹子の手をとり、走り出した。

二人は、とても楽しそうに、笑っていた。

（（ずっと一緒にいられますように・・・！）（

「妹子・・・二人羽織みたいにコート着て帰らないか？寒い！！」

「死んでください。嫌ですよ、臭いつく・・・」

後日、太子は風邪を引き、

受験には、ギリギリで合格したそうだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9498p/>

初詣

2011年1月9日00時11分発行